

# ふくむ草の会 だより



散歩コースの中にお寺があります。道元禅師という方の立像があり、手を合わせてきます。「コロナ禍が早く治まりますように」「歴史の中の一ページに過ぎんよ」と笑われているような気がします。今年もあと残りわずかとなりました。今年の1月・2月は他人事のように思えたコロナ禍が、今では、すぐ頭の上にかかる暗雲のようです。日々の努力だけではどうしようもないけれど、気持ちを押しつぶされないように、仲間の声やつながりを励みに、乗り切ってください。

## 9月のつどいから (会員13名 + 村上保健師)

### ▷近況報告

Aさん: お母様が特養に入所中。リモート面会を希望して、施設でスマホの設定をしてもらい、画面上で会話した。お母様が「会いたい」と涙を流され、つらかったが画面上でも顔が見られ、ホッとしました。月に一回の事務連絡の際、ケアマネさんが様子を手書きしてくれありがたい。⇒これからの時代、リモート、Zoomなどの知識があると良いのかも。

Bさん: 姉が病院に入院中。病気としての治療は終わっている。施設に移りますか?と聞かれている。⇒病院のソーシャルワーカーに相談してもらえ。リハビリ、費用のことなど、施設の情報を知ると良い。できたら、一人ではなく、複数で聞くと良い。

Cさん: 家族が介護認定の申請をして、介護度1と認定される。自分としては、モノ忘れはあるとは思いますが、ショックを受けている。⇒モノ忘れなど進行させないためにも、とじこらずに、人とふれ合ってください。

▷「私の心づもり」用紙の配布  
アドバンス・ケア・プランニング(ACP=人生会議)と呼ばれる。本人・家族・医療・介護スタッフで、どんな最期を迎えたいか、大事にしたい価値観は何か、といったことを、早めに話し合っておく、際の手がかりにしてください。

▷ストレッチ体操  
村上保健師の指導で、固まっている身体をほぐしました。

福寿草の会  
愛川町介護者の会  
第160号  
2020年11月5日  
連絡先 愛川町社会福祉協議会  
Tel 046 (285) 2111

## 11月のつどい 11月17日(火) 午後1時半~3時半

愛川町福祉センター 3階会議室にて  
話し合い・情報交換・ストレッチ  
・検温の上、マスクを着用してご参加下さい。  
・ご自身、ご家族にも発熱・体調不良の方がいらっしゃる場合は、参加は見合わせて下さい。  
・換気などで、いつもより寒いかもしれません。暖かくして、お出かけ下さい。

## 地域包括ケア市民講演会 “最期まで自分らしく” ひとり暮らしは明日のわが身

～“お迎え”は住み慣れた自宅で受けてたい  
そう願う全ての方に聞いていただきたい話～

医療法の改正により、在宅医療が、病床数の削減、在院日数の短縮とセットで推進され、“好むと好まざるに関わらず”在宅医療を選択するしか道がなくなっている。

### ▷一人身のガン在宅死実現の要件

- ・本人の意志
- ・家族の受け入れ
- ・出入りする関係者の周知・徹底
- ・医療的な支援
- ・地域力の結集

### ▷最期まで家での暮らしをつらぬく方法

- ・自分の意志を表明し、それを自宅へ出入りする者に周知・徹底する。
- ・自分の希望を実現してくれる医療・福祉チームを探し出す  
“たたけよ さらば 開かれん”
- ・患者とケアする側との信頼関係  
“あなたと居る”メッセージを伝えていく

### ▷質疑応答

Q: ガン患者の事例が多かったが、高齢者の在宅死の場合は?  
A: ガンで亡くなる場合の在宅期間は短く、一か月以内という事例がほとんど。ケアチームも充分力を注ぐことができる。しかし、高齢者の場合は、期間も長く、医療よりも福祉体制の環境整備とケアが必要になる。

### <感想>

13年前になるが、ガン末期の母を在宅での看取りを経験。“たたけよ さらば 開かれん”はよくわかる。しかし、一人身で、自分のためにそれをやろうとするには、かなりの困難があると思う。  
また「地域力」というが、ご近所が目くばり、気くばり、は、どこまで入りこんで良いものか? 迷いの中にある。

## 悲しいお知らせ

黒澤さんが介護されていた山本つね様(実母)が、10月14日亡くなりました。101歳でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。永い間の介護もお疲れさまでした。



10月26日 厚木市文化会館  
講師 川越 厚氏

医療法人社団バリアン 理事長  
クリニック川越 院長